

# 2022年度 倫理委員会（第2回定例会）議事録

開催日：2022年9月10日（土） 13:30～17:00

場 所：九州本部会議室での対面式とWEB 式を併用したハイブリット会議

参加者：委員 19名出席、オブザーバー5名出席

議事録：西井（文責）

## 1. 技術士第一次試験適性科目を題材としたディスカッションイベント

今回で2回目となる第一次試験適性科目を題材としたグループ討議イベントである。

過去に実施された適性科目試験問題より2題抽出し、コーディネーター（1名）の下に、ご意見番としてオブザーバー（1名）を設け、そこに4～5名のディスカッションメンバーを構成し、正解を探ることを目的とせず、技術者倫理を俯瞰した上での設問の意図の探求に重点を置いた討議を行ったものである。

ディスカッションの方法は、下記の要領で実施した。

- 倫理委員会が主催する公開型のCPDに活用していくことを前提としてテスト的に行うこととした。
- 今回のポイントとして、部分的な場面、技術者の立場を想定した問題を取り上げた。
- 課題設問を公開した上でテスト的に運用した。
- ハイブリッドでのディスカッション（会場とWEB参加者）の有効性を事前に予測した。
- 会場メンバーとWEBメンバーに分けてディスカッションを行った。

## 2. タスクチームからの活動状況報告

### 2-1 活動管理タスクチームからの報告（井内リーダー）

第3分冊編集方針として、著作権等の課題を回避するため、原則としてPPT資料の記載から報告シート様式の記載へ変更する。また報告様式の提出期限を2023年2月定例会までとする。

### 2-2 教育啓発タスクチームからの報告（佐藤リーダー）

大学・高専で授業を受け持つ人へのサポートとして、学習会を企画する。これは地域貢献でもある。また学生以外に、産学官の技術者に対するサポートも必要と考えている。この理由として、地方の中小企業では倫理を学ぶ場や講師の適任者を探すのが困難であるからである。協賛企業を対象に、講演会のデリバリーと講師派遣を図ることは、協賛企業と日本技術士会両者に有益となる。

教材に九州版テキストの使用が薦められる。

今後は、メンバー共通の倫理レベルを担保するために、基本的には情報及び意見交換を行いながら、相互に刺激を受けながら、メンバーの倫理観の醸成を図っていきたい。

### 2-3 倫理研究タスクチームからの報告（永岩リーダー）

本日実施したディスカッションイベントの内容を、メンバー間で検証し、今後予定している公開型イベントにつなげていきたい。また来年度、中国本部とコラボレーションを予定している共同企画の中で、新しい倫理綱領を基にした題材を検討するのも一案である。実施に当たっては、メンバー間で意見を募りながら、方向性を決めたい。

## 2-4 連携交流タスクチームからの報告（堀田リーダー）

11月19日（土）に開催される共同企画の中国本部技術者倫理講演会の準備について、中国本部との連携行事に関する現状を鑑みると、中国本部との協議を急ぐ必要があることから、連携タスクチーム（堀田）より中国本部大丸委員長に連絡し、九州本部の役割を確認した。その結果、今年度は講師（西井委員長）派遣のみで了解を得た。中国本部と九州本部の倫理委員会同士の意見交換にあたっては、リモート会議のツールの使用について検討する必要がある。

## 3. 会務報告と意見交換、その他

### 3-1 次回の第3回定例会

日時：11月26日（土）13：30～17：00

場所：九州本部会議室または貸会議室での対面式およびWEB式の併用。ただし感染状況により、全面WEB式に切り替えることある。

内容：①事例研究発表2題

末松委員「PL裁判事例」、西井委員長「技術者のアイデンティティ」

②タスクチーム報告

③会務報告

全国大会報告と中国本部共同イベント報告、他

議事録：岩見委員

### 3-2 その他

技術士だより冬季号の原稿投稿者は河本委員、春季号は城戸委員にお願いすることになった。

以上